

JP Laid-open Utility Model Publication Number: No. 62-149753

Date of Publication: September 22, 1987

Date of filing: March 14, 1986

Application Number: No. 61-37816

Applicant: RB Corporation

Creator: Yuudai MURANO

Relevant part of the Publication

As shown in Figs. 1 and 2, a temperature dial (17) is disclosed. A valve body (12) is moved in accordance with the operation of the dial (17).

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭62-149753

⑬ Int. Cl. 4

F 24 H 9/00
F 16 K 31/68

識別記号

庁内整理番号

W-6783-3L
8713-3H

⑭ 公開 昭和62年(1987)9月22日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 浴槽水の濾過・加熱装置

⑯ 実 願 昭61-37816

⑰ 出 願 昭61(1986)3月14日

⑱ 考 案 者 村 野 雄 大 茨城県筑波郡谷田部町中別府551

⑲ 出 願 人 ロケットボイラー工業 土浦市北神立町1の1
株式会社

⑳ 代 理 人 弁理士 大野 克躬 外2名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

腔胴に連なる3つの管口を設けた三方弁の、第1の管口と加熱器とを低温湯導管で接続し、第2の管口と浴槽への給湯口とを給湯管で接続し、第3の管口と濾過器とを浄化湯導管で接続し、また、該濾過器と浴槽を温水導管で接続し、その温水導管に温水循環ポンプを設け、加熱器と浴槽給湯口とを第2の給湯管で接続し、更に、前記三方弁の腔胴内に、器内にワックスを封入して温感部を形成したサーモスタットの、該温感部を第3の管口に向けて臨ませ、また、該サーモスタットに弁体を一体に固定し、この弁体を、湯温が設定温度より低い場合は第1の管口への流出口を開放し、湯温が設定温度より高い場合は、第2の管口

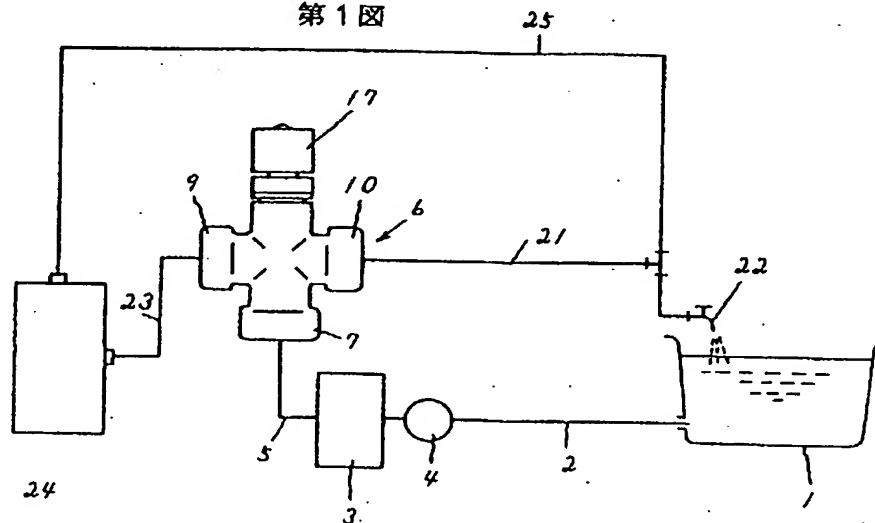
への流出口を開放するよう配設した、浴槽水の濾過・加熱装置。

図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示したもので、第1図は使用態様を表わした概略図、第2図は三方弁の縦断正面図。

1……浴槽、2……温水導管、3……濾過器、4……温水循環ポンプ、5……浄化湯導管、6……三方弁、7……第3の管口、8……腔胴、9……第1の管口、10……第2の管口、11……サーモスタット、12……弁体、13……温感部、14……ワックス、21……給湯管、22……蛇口、23……低温湯導管、24……加熱器。

第1図



第2図

